

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：国際教養学部

学年：3 年

留学先大学：マヒドン大学

現在の学期：1 学期

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	10:00-11:50 Introduction to international studies
火	12:00-13:50 Conflict, war and peace studies 14:00-15:50 Introduction to Thai language and culture
水	10:00-11:50 Introduction to international studies
木	12:00-13:50 Conflict, war and peace studies 14:00-15:50 Introduction to Thai language and culture
金	
土・日	

履修科目や近況について

履修科目は所属学部の基礎科目を中心に受講しています。毎週の Reading 課題、グループプレゼンテーションのための準備や中間試験があり大変なので、はじめは環境に慣れるために 3 科目のみ登録しました。どの授業も週に 2 回で 1 回 110 分、金曜は私は休日です。出席は毎回取りますが、中間試験と最終試験でほとんどの成績が決まります。

月水の Introduction to international studies は、留学生も複数名受講していて、先生の英語も聞き取りやすく授業の雰囲気もととても良いです。時事問題についての日頃からの関心を求められたり、日本のことについて聞かれたりすることもあります。世界から見た日本の立ち位置を理解すると同時に、自分が日本の歴史に関して知識不足であることを痛感する時間でもあります。プレゼンテーションはすでに終了したので、残るは中間試験と最終試験です。

火木の Conflict, war and peace studies は先生の話す英語がかなり早く完璧に聞き取れないうえに、歴史に関する知識も問われる内容のためかなり大変です。8 週目にグループプレゼンテーションが決定しているため今から準備を始めなければいけません。また、中間試験と最終試験もかなり難易度が高くなりそうなので、さらに集中して授業に取り組まなければなりません。

生活面では、特にクラブ活動には参加していませんが、留学生が主催するものも含めて学内でイベントがよく開かれていますので参加しています。時間に余裕ができたなら運動系のサークルに参加したいです。今月は留学生の友人と一泊二日でホアヒンに旅行に行きました。来月の中旬には留学生の友人とランタン祭りに行くためにチェンマイを旅行してきます。北部に移動するのは初めてなので楽しみです。

タイではほとんどの学生がアパートで独り暮らしをしています。他の国に留学中の学生と比べ、誰かの家でみんなで料理をしたり集まったりする頻度は少ないですが、近くにたくさんの屋台があるので食べ物に困ることはありません。

キャンパス、学食、ホアヒン旅行





海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：国際教養学部

学年：3 年

留学先大学：マヒドン大学

現在の学期：2 学期

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	8:00-9:50 Sociology in the modern world 14:00-15:50 Gender and sexual diversity in the globalized world
火	12:00-13:50 Perspectives on Thailand
水	8:00-9:50 Sociology in the modern world 14:00-15:50 Gender and sexual diversity in the globalized world
木	12:00-13:50 Perspectives on Thailand
金	
土・日	

履修科目や近況について

履修科目は卒論の研究テーマに役立つものを中心に決めた。タイ語を継続して受講しようと検討していたが、前期で Elementary Thai を受講していないと継続できないらしい。

Sociology in the modern world は社会学の誕生から現在までの流れを学ぶ授業である。ほぼ座学形式の講義で、出席、4 回の小テスト、中間レポート、最終レポートと最終プレゼンテーション（すべて個人）で成績が決まる。先生がグループワークを好まないため一切採用されておらず、個人の努力量で成績が決まる。4 回のクイズ以外の課題はすべてオンラインで提出する。授業全体を通して批判的な目線で分析をすることが求められ、他者の意見を引用して意見を論述することが禁止されている。

Gender and sexual diversity in the globalized world はフェミニズムの誕生から現代

社会でのジェンダー的課題までを学ぶ授業である。出席、2 回の小テスト、個人プレゼンテーション、小レポート、最終レポートで成績が決まる。ほとんど毎回の授業で少人数グループでのディスカッションがある。ジェンダーといっても、講義内容は LGBTQ+ の話題が中心적であるように感じる。

Perspectives on Thailand はタイの歴史の変遷から現在までを学びながらタイらしさとは何かを追求していく講義である。出席、中間試験、個人プレゼンテーションと最終試験で成績が決まる。毎回の授業で小集団でのテーマに沿ったグループワークがあり、タイ以外の国と比較してタイを捉えるメソッドが講義内で多く採用されている。

また、クリスマスと新年の休暇では国内外で友人と旅行をしてゆっくりと過ごせた。最近では、休暇にバスに乗って知らない街を探検するのがリフレッシュになっている。生活面では、朝登校してから午後 18 時ぐらいまで 1 日のほとんどを大学で過ごすようになった。年始から本格的に就職活動を開始したので同時進行が大変であるが、充実しているように思う。さらに、卒論に向けた研究で今学期からフィールド調査を開始する予定でありやや忙しくなるが、次の長期休暇を楽しみにして頑張ろうと思う。







